



どうなっとうと？ 一般質問

3月議会では、会派代表質問と個人質問を行いました。

代表質問では、市長の施政方針の構成に基づいて質問項目を挙げています。



会派を代表して問う 代表質問

代表質問 質問項目一覧表

会派	施政方針における質問項目 (◎=掲載項目 ○=その他の質問項目)	掲載ページ
未来のまち	○冒頭フレーズ ○令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクトの推進 ○太宰府市教育大綱の改定 ○中学校完全給食の実施 ◎筑紫野市との連携推進 ○戦略的まちづくりの推進	49ページ
太宰府市民の声	○企業誘致推進体制の強化 ◎観光回遊ルートの整備 ○地域公共交通計画の策定 ○待機児童ゼロへの取組推進 ○学力向上への取組推進 ○中学校完全給食の実施 ○学業院中学校整備計画の策定 ○こども家庭センターの開設 ○人権啓発の推進	50ページ
新風	◎中心市街地の活性化 ○市民一斉避難訓練	
公明党	○総合交通計画の改訂 ○こども家庭センターの開設 ◎窓口機能の充実・強化	
幸光	◎企業誘致推進体制の強化 ○起業創業支援・地場産業育成の推進 ○総合交通計画の改訂 ○入札改革の推進	51ページ

A 市長 3点関連がありますので一括して回答します。
現状でも消防や水道、火葬場、し尿処理などの一部事務組合に両市ともに加入しています。高尾川の河川改修など一市では解決できない課題も共有していますし、歴史的・地理的・文化的にも強いつながりがあります。今後、よ

Q 本年度の施政方針では、新市長の誕生を受けて筑紫野市とのさらなる連携を図るとのこと。大いに期待しつつ3点伺う。
①今までの太宰府・筑紫野両市の連携とどこが違うのか。
②両市で共同して取り組む課題は何か。
③どのようにしてさらなる連携を進めるつもりか。

問

筑紫野市との連携をどう進める



木村 彰人 議員
きむら あきと

未来のまち



り緊密な相互連携を図り体制を強化することで合意しており、私の生まれ育った故郷でもあることから、観光や経済、交通、防災などあらゆる分野の連携を進めていきます。



録画映像はこちら



太宰府市民の声
徳永 洋介 議員



録画映像はこちら

問 県と連携したワンヘルスの推進と観光回遊ルートの整備を

Q 太宰府市のワンヘルス推進宣言文では、自然とのふれあいを通じて、ワンヘルスに係る活動や行動を学び、体験することができ「ワンヘルスの森」福岡県立四王寺県民の森」の利用促進に協力すると記載されている。そこで、四王寺山、宝満山の自然整備における県と連携したワンヘルス推進について伺う。



A 市長 本市は令和4年3月、太宰府市ワンヘルス推進宣言を表明しました。ワンヘルスとは、人と動物の健康と環境の健全性は一つと捉え、これらを一体的に守るという考え方で、世界的にその取組が進められています。また福岡県は、令和4年3月に福岡県ワンヘルス推進行動計画を策定しワンヘルスを推進しています。その中で本市と深く関わっている事業が四王寺県民の森をワンヘルスの森として整備するものです。今年1月からは、森林浴ツアーも開始しています。今後もワンヘルスの森の整備や利用促進への協力、市民への周知など、福岡県と連携を図りながら、ワンヘルスの取組を進めていきたいと考えています。



公明党
堺 剛 議員



録画映像はこちら

問 市民総合窓口を目指して

Q 本市のワンストップサービスへの取り組みについて2点伺う。
①行政手続きの簡素化と市民生活の利便性向上の観点から「書かない窓口」導入の検討について見解を伺う。
②福祉の総合窓口の設置は重要課題である。市長の考える福祉の総合窓口の意義と、その効果に対する思いを伺う。

A 市長 ①書かない窓口については一部を実施しているものもあり、総合戦略推進委員会でも検討を重ねています。今後は政府の自治体DX推進の動向を鑑みて調査研究を行ってまいります。
②公的支援の対象とならないような、いわゆる制度のはざまにある人にもニーズの把握や適切な支援へつな



〈市役所庁舎1階〉

げる必要があり、地域共生社会の実現に向け、課題を明らかにして専門機関につなぐ福祉総合窓口の設置など、横断的な組織体制について検討を重ねてまいります。



新風
船越 隆之 議員



録画映像はこちら

問 中心市街地をどう活性化するか

Q 中心市街地の活性化について4点伺う。
①ビジョン会議が行われた回数は。
②会議に参加されたメンバーは。
③ニュー太宰府構想の具体化の本身は。
④若手職員や鉄道事業者との勉強会の進展や成果は。また、西鉄五条駅周辺等の再開発について。

A 市長 ①まちづくりビジョン会議の全体会議を3回開催しています。
②都市計画やまちづくりに精通した識見者、商工業、金融機関関係者から4名の委員と、組織横断的にチーム編成した職員グループで議論を進めています。
③コロナ禍により中断されていた地域公共交通計画・総合交通計画の策定



に向けた各協議会や、都市計画審議会での議論を再開し、都市拠点の在り方や関連する交通計画についても議論しています。
④若手職員の視点から本市に求められる都市の機能や課題などについて活発な意見交換を行い、議論を重ねています。西鉄五条駅をはじめとした各拠点の在り方についてさらに議論を深め、具体化を図ってまいります。



宰光
入江 寿 議員



録画映像はこちら

問 企業誘致推進体制をどう強化するか

Q 令和4年度施政方針において、3年度に庁内プロジェクトチーム（PT）を発足し、4年度は体制強化するとしていた。5年度施政方針で企業誘致推進体制の強化は、本市の経済税収強化を高める重要課題であり、新たな取組みとして、民間コンサルタントのノウハウを活用した企業誘致戦略策定、施策展開へと前進させると述べられた件について4点伺う。
①庁内PTの活動について。
②民間コンサルタントの活用について。
③令和4年度と5年度の関連性について。

A 市長 ①知的集約型産業の企業をターゲットとし、本市の有する地域資源や特性にふさわしい形についてチームで議論を深めました。
②地域に根差した新たなビジネス創出、地元産業の活性化を図るため、民間のノウハウを活用し、令和5年度に企業誘致戦略の策定と具体的な施策展開へと前進させます。
③4年度はPTで導き出した内容をビジョン会議で相談し、5年度に民間企業のノウハウを活用し具体的な誘致活動に取り組みます。
④地域資源の活用を検討しビジョンを描いてまいります。

